

<平成29年度 ハローオリンピズム事業>

オリンピック教室

実施報告書

東京都 板橋区立志村第四中学校





現行の学習指導要領は平成21年（2009）4月に公示され、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されました。そこには、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容に、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること」とオリンピックの意義が明示されております。

これを受けて日本オリンピック委員会（JOC）では、平成23年度（2011）から、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエールド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められております。このようなオリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることも期待しております。

「オリンピック教室」の授業は、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。また同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

平成23年に施行された「スポーツ基本法」の前文の一部に「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習する内容は、まさにこの基本法に記された精神や態度等を日常生活の中へ具現化することを後押しするものであると考えています。

平成29年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会



- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成29年4月～平成30年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 50校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間 (50分)



2時限目
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります



1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等）を設け、
生徒が考える機会を作る



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます



- 期 日 : 平成29年9月11日 (月)
- 場 所 : 板橋区立志村第四中学校
- ク ラ ス : 2年3組 (31名)、2年4組 (30名)
- オリンピアン : 佐藤 久佳 先生 (水泳・競泳)
- 授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



・佐藤先生から自己紹介。運動と座学の流れを確認し、オリンピックバリューについて簡単に説明。エクセレンスは一生懸命頑張ること、フレンドシップは仲間と協力すること、リスペクトは相手を思いやることと説明した後、準備体操を実施。

2. 準備体操



3. 主運動



・3チームに分かれ8の字跳びを実施。90秒間に連続して何回跳ぶことができるかを競う。全3回戦実施し、佐藤先生からは失敗したことから学んだことを、次に活かすことが大切だと伝える。
 ・クラス全員跳びに挑戦。

4. まとめ



・挑戦してもうまくできないことはあるが、失敗したことをその後どう活かすか考えて、挑戦を続けていくことが大切だと伝える。
 ・オリンピックバリューやオリンピックシンボルの意味等を座学の時間に説明すると予告し、運動の時間を終了。



■ 授業のながれ： 座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・授業の目的を確認し、北京大会の映像を見せながら簡単な自己紹介。
- ・オリンピックを目指すとして決めたから、出場するまでの4年間の経験と3つのオリンピックバリューをつなげて説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- ・発問①：運動の時間に立てた作戦や工夫したことを振り返り実践できたかを考えよう。
- ・発問②：今後の生活の中でどんな自分になりたいか、実践したいことをオリンピックバリューに当てはめて考えよう。
- ・発問②のみ発表。一度決めた目標に対して日々努力する、小さい努力を積み重ねる（エクセレンス）、チームメイトやクラスメイトを大切にする、お互いを高めあう（フレンドシップ）、家族や友人、先生への感謝、支えてくれる人を大切にする（リスペクト）等の意見が挙げられた。

4. まとめ



- ・今日の授業で説明したオリンピックバリューについて自分なりに考え、自分の決めた目標に向かって最後まで貫いてほしい。人と比べるのではなく、自分に負けないことを意識して、自分なりの100%の集中力で100%の努力をして、夢や目標に向けてがんばってほしいと伝え、座学の時間を終了。



- 期 日 : 平成29年9月12日 (火)
- 場 所 : 板橋区立志村第四中学校
- ク ラ ス : 2年1組 (30名)、2年2組 (30名)
- オリンピアン : 星 奈津美 先生 (水泳・競泳)
- 授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・星先生から自己紹介。運動と座学の流れを確認した後、今日はオリンピックバリューを意識しながら取り組んでほしいと伝える。
- ・エクセレンスは努力、がんばること、フレンドシップはクラスで力を合わせて協力すること、リスペクトはルールを守ること説明し、準備体操に移る。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・6班に分かれて番号踏みを実施。円の中にランダムに並べられた1～20までの数字が書かれた紙を、1人5枚ずつ順番に踏み、20番まで踏む早さを競う。全3回実施し、各回終了後に各班のタイムを発表し、タイムを縮めるための作戦タイムを設ける。

4. まとめ



- ・星先生から主運動を振り返り、授業冒頭に確認したバリューを実践できていたと話し、座学の時間では星先生にとつてのバリューについて詳しく説明すると予告し、運動の時間を終了。



■ 授業のながれ： 座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



・簡単な自己紹介の後、リオデジャネイロ大会の映像を見せながら競技紹介。オリンピックのイメージを問いかけた後、自身の経験を交えながら3つのオリンピックバリューについて説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



・発問：がんばりたいことや実現したいこと、目標に向けて実践したいオリンピックバリューについて考える。
 ・発表：人一倍努力する、気持ちで負けない、妥協しない、悔しさをばねに成長する（エクセレンス）、仲間と協力する、ライバルを理解する、相手の気持ちを考えて思いやる（フレンドシップ）、両親やコーチに感謝する、練習場所を提供してくれる人に感謝する（リスペクト）等の意見が挙げられた。

4. まとめ



・グループワークの発表で挙げてもらった意見はオリンピックバリューに当てはまることであり、普段の生活にも活かせることなので、オリンピックをより身近に感じてほしいと改めて伝える。
 ・夢や目標、がんばりたいことは、最初は自分ひとりの目標かもしれないが、取り組む過程で家族や先生、友人やコーチ等多くの人が協力してくれて、次第に周囲の人たちの夢にも変わっていく。これから壁にぶつかったり悔しい経験をした時に、今日の授業のことを思い出してほしいと伝え、座学の時間を終了。



■ 集 合 写 真

2年1組



2年2組





■ 集 合 写 真

2年3組



2年4組





■ 記念品贈呈

2年1組



2年2組



2年3組



2年4組



■ 証明書贈呈

